

## 令和7年度 学校評価

### 1 学校目標

神社神道を建学の精神とし敬神崇祖を教育の根幹として「浄・明・正・直」の心を養う。  
生徒の才能と適性を開発し、学力・体力・気力の増進を図り個性あふれる心豊かな生徒を育成する。

### 2 中期目標

#### 1 学校運営

- (1) 神社神道の精神である「浄明正直」の実現
  - ア、学校行事を通して神社神道の精神を学び、成長の糧とする
  - イ、奉仕活動を積極的にを行い奉仕の精神を養う
  - ウ、挨拶を積極的に行う
- (2) 教員研修の充実
  - ア、教科ごとに学内で公開授業を実施し教科指導力を向上させる
  - イ、外部の研究会や研修会などに各教科が積極的に参加
  - ウ、外部講師を招き学校現場においてのタイムリーな課題・問題について職員全員対象での研修会を実施
  - エ、ICT教育関連の研修や研究授業に積極的に参加し機器の利用能力を向上させる
  - オ、新任教諭による研究発表会
- (3) 学校施設の充実
  - ア、学習施設の整備充実
  - イ、校内学習補助機材等の充実
- (4) 危機管理体制の確立
  - ア、災害時、管理マニュアルの更新
  - イ、水、食料の備蓄を実施
  - ウ、防犯訓練・避難訓練の実施

#### 2 基本的生活習慣の確立

- (1) 人権教育
  - ア、生活実態調査
  - イ、人権教育HRの実施
  - ウ、生徒対象人権教育研修会(1年生のみ)の実施
- (2) 生活指導
  - ア、学校外危険箇所、正門での登下校時の指導
  - イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態アンケートの実施
  - ウ、全校生徒対象の校長講話ならびに生徒生活指導部長からの注意、指導
  - エ、服装、頭髪指導、及び公共のマナー、交通マナー向上の指導
- (3) 講演会、講習会の実施
  - ア、薬物乱用防止教室
  - イ、防犯教室
  - ウ、人権研修会
  - エ、ネットトラブル防止教室
  - オ、思春期教室
  - カ、自転車通学者講習会
  - キ、AED講習会

### 3 学力向上と進路

- (1) 教科指導の強化
  - ア、教科内での教員研修会の実施
  - イ、通常授業や各種講習の指導を通じて指導力の向上
- (2) 英語教育の強化
  - ア、高校在学中の英語検定2級合格を目指す
  - イ、Naniwa Global Academyの実施
  - ウ、語学研修の実施
  - エ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励
  - オ、浪速国際コースでの実践力強化
- (3) 講習等の実施
  - ア、始業前の学習指導
  - イ、日常の放課後講習とその後の自習指導の実施
  - ウ、長期休暇中での講習
  - エ、多聞合宿の見直しと内容の充実
  - オ、夏期特別選抜合宿の実施
- (4) ICT教育の推進
  - ア、ICT関連のICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加
  - イ、ICT機器を活用した本校独自の研究授業実施
- (5) 将来の進路選択に関する意識付け
  - ア、大学入試改革・学習指導要領改訂への対応
  - イ、各大学・専門学校関係者による校内・校外での進路説明会・キャリアガイダンスの実施
  - ウ、各大学で開催されるオープンキャンパス、セミナーへの積極的な参加
  - エ、外部講師を招いての受験対策講義
  - オ、HR等の時間での進路説明会
  - カ、思考力・判断力・表現力の育成

### 4 保護者地域に開かれた学校づくり

- (1) 保護者による授業参観と懇談
  - ア、授業参観の実施
  - イ、各学期に行われる三者懇談会
  - ウ、学期末に行われる成績懇談会
- (2) 保護者との連携と情報発信
  - ア、担任と保護者との連携
  - イ、保護者へ学校連絡網システムやホームページによる情報発信
  - ウ、保護者対象進路説明会の実施
  - エ、高校生活支援カード作成による連携
- (3) 地域との連携
  - ア、地域主催「区民まつり」「福祉祭り」「住吉区民コンサート」等の参加
  - イ、吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ堺)
  - ウ、地域との交流
- (4) 奉仕委員会
  - ア、地域での奉仕活動・神社奉仕
  - イ、書道部による交流

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>○生徒</p> <p>生徒による自己分析と授業評価アンケートの結果、「学校生活を楽しく過ごしている」と答えている生徒の割合は、全学年の平均で昨年と同じ86%、「充実感を得ていない」生徒や「不満を抱えている」生徒は昨年と同じ4%であった。家庭学習の時間は、高1・高2が昨年度より増加している。特に、高1SNRの伸びが目立っている。「将来について真剣に考えている」と答えている生徒の割合は、変化なく70%以上を保っている。また、昨年度急上昇した「工夫された授業が多い」と答えている生徒の割合が少し減少し60%となっている。この項目は今後の教育活動で特に重要視すべき事項であり、今後の課題と言える。</p> <p>そして、「実力アップにつながる授業が多い」との評価も昨年度と同様に高い水準である。引き続き、主体的に学びに向かう力の育成、思考力・判断力・表現力の育成が重要だと分析する。</p> <p>○保護者</p> <p>全学年で授業参観を実施し、その中での保護者アンケートによると、「とても良かった」・「良かった」を合わせると87%となり好評であった。個別の意見では、「先生方の口調も聞き取りやすく、参観に来たというより授業を自分も受けたような錯覚になりました」「先生の情熱が伝わる授業であった」などがあつた。だが、「人が多くて見られない時間が多かった」「教室に緊張感がなく不安になった」という意見もあり、今後検討が必要な状況もあると言える。</p> <p>○教職員</p> <p>教職員のアンケートによると、学校運営については、教職員・生徒・保護者に浸透している建学の精神を中心とした教育課程の充実、主に本校ホームページを活用した教育活動の情報発信が、99%の教職員が達成したと評価をしている。地域との交流は昨年度70%から85%に上昇、昨年度に改善希望の意見があつた危機管理についても評価が上昇している。教育内容については、ICTを活用して授業の質を高めわかりやすい授業を実践する取り組み、放課後講習などのきめ細やかな指導、進路相談などによる進路指導の充実、情報モラル教育の内容充実などが90%を超える高い数値となっており教職員から評価されている。また今年度も、校内研修や外部研修会へのさらなる参加を希望する教員の気持ちを読み取れる。その実現のために、土曜日の授業をなくした変則週休2日制を実施し、外部の研修に参加しやすい環境を整えはじめたが、課題があると言える。</p> <p>生活指導を中心とする日々の生活態度の改善についての項目では、不足していると答えている教員も増加しており、さらなる改善が必要と思われる。部活動の活発さは99%の評価であり、文武両立をモットーとする本校の考えは、教職員の評価の上に成り立っていると分析できる。</p>	<p>○生徒</p> <p>府内最大の人気校との評判を聞き、ご入学されています。それぞれの目標により個々が活動し、進歩できるよう学校をフルに活用なさっておられます。神社神道の教えもあり、正門を入られて神社に一礼し心を整えて学校生活をスタートなさっています。世の中が変貌し礼節が薄くなる中、大切な心構えで日々生活されていると思います。日本人として素晴らしい習慣をお持ちです。高校在学3年間は、社会に向け勉学の実力を付けていくことともに、多様化するこれからの時代に向け、どのような状況や環境においても、柔軟な思考、幅広い視野、何事も挑戦して、社会で唯一無二の存在になれる基礎力を身に付けてほしいと思います。</p> <p>○保護者</p> <p>最新の教育環境施設、先生方の終わらない学校を良くする進歩に驚き、感謝されています。勉学以外の人間として生きる力をつけて頂いている事に満足なされています。</p> <p>○教職員</p> <p>府内どこよりも進歩進化、真摯に生徒を成長される熱意は大阪府でどこにも負けてない底力をお持ちだと思います。先生方、事務職員の先生方、入試広報の先生方がそれぞれの仕事を日々進歩される集団の学校はまさに府内一番だと思えます。クラブ活動もスペシャリストの先生方の手厚いご指導で、生徒さんも自信をもって精進なさっておられます。府内トップの学校でみんなが汗をかく強いメンタルの先生方です。神社神道の教え日本人として大切な心構えをお持ちになった先生方の強い集団です。日々の学習指導、保護者対応など、同時にいくつものタスクを行う学校現場でのご尽力に感謝いたします。今後もより深い専科の知識を生徒たちに向け、学習環境を整えていただければと思います。若い教職員も増えているかと思えます。教育関係の研修会や講習会等のみではなく一般社会の事を学んでいく必要があると思えます。人間としての幅を増やして、生徒への教育に生かして欲しいと思います。</p>

### ○まとめ

本校の教育環境整備は更に進んでおり、内部だけでなく外部からも評価をいただいている。それは入学者数にもあらわれている。ただそれは、単に施設設備が豪華で完備しているだけが理由ではなく、「浪速で学びたい」理由が他にあるかだと考える。教職員はその期待にこたえるべく常に努力し、教育の中身についてしっかりと対応できている。この姿勢を崩しては絶対にいけないと感じている。「伝統と革新」を掲げ、生徒数が増えても「生徒ファースト」の精神は変えません。一人ひとりを大切に、きめ細やかなサポート体制のもと、「行きたい大学へ行く」進路指導を実現し、国公立大学の進学実績を確実に伸ばしていきます。「主体的に取り組む力」の必要性が謳われている新学習指導要領に対応するため、生徒自身が積極的かつ能動的に「自学自習」や「探究活動」等に取り組む時間を確保することに力を注いでいる。具体的には、新たな土曜日の取り組みである3S (Saturday Something Special)の中で、外部業者と連携をとり「自学自習+質問対応」を実施している。また、外部講師による130の講座を開講し、キャリア教育や探究活動をすすめている。この3S(Saturday Something Special)の評価が高く、今後も改善発展を進めていく。運動部21、文化部25の豊富なクラブ活動に加え、海外語学研修や浪速祭・体育祭など、生徒の成長を促す様々な行事があり、教職員一同全力でサポートして卒業時に「浪速に来て良かった」と感じ、浪速での経験が未来を輝かせる基盤となることを信じています。「生徒の面倒を徹底的に見る」を教職員の合言葉としており、生徒達の僅かな変化をいち早くキャッチすること、問題の解決へ敏速に動くこと、学校生活を安心して送るため保護者との連絡を密にとること、教員間での相談や情報共有を確実にすることを進めており、高く評価されている。そして、今後も継続していく。

### ○その他

神社神道の教えが柱となりみんなが一つになり邁進なさっておられます。日本人として感謝の気持ちを大切に心清らかな沢山の生徒さんをお育てになられる学校はこれからの日本の宝だと思います。親世代は、わからないことは先生(師)に…という考えがありますが、現代の子供たちはわからないことや、質問や物事の背景をAIやチャットGPTに委ねることが多く、問題の本質を見極めることや鑑みすることも減ってきているように感じます。これからの時代デジタルを使いこなすことは大事なスキルでもありますが、デジタルに生きる温度は存在しません。デジタル時代、ICT活用と並行して、教職員のお力が必要です。これからも生徒たちが「浪速で学んだ、ではなく「浪速だからこそ学べた、」と思えるような授業や経験、幅広い視野で学校運営いただけたらと思います。ICTなどのデジタル的なものだけに頼るのではなく、教員と生徒の人間としてのいい関係をもっと増やし、生活力や学力をもっと向上させる様に教育していってほしいと考えます。地域との連携とありますが、区民まつりや区民フェスティバル等で浪速高校の吹奏楽部等の参加を見ました。ご覧になられた方々も大変喜んでおられました。今後も是非いろいろな行事に参加して、地域との連携を深めてほしいと思います。地域行事に参画している吹奏楽部の活動については、地域共生社会の充実に多大なる貢献をしていると思われまます。90%弱の生徒たちが『学校生活を楽しく過ごしている』と回答している点は、素晴らしいことだと言えます。ただ、不満という生徒たちをどの様な問題点を抱かえているかの解析が必要と考えまます。また、生徒たちの『実力アップに繋がる授業が多い』と云う評価は大切なことなので、評価すべきである。3Sの講座が130と知り驚き、選択する側に於いても結構なボリュームかなと思います。この様な、積み重ねに於いてここ数年の入学者数の増大に結びついている表れだと感じます。「学校生活を楽しく過ごしている」と答えている生徒の割合が全学年の平均で86%を維持されていることに大変な感慨を受けまます。生徒・教職員・携わるすべての人が、「生徒の才能と適性を開発し、学力・体力・気力の増進を図り個性あふれる心豊かな生徒を育成する」ことを理解し実践していることの表れだと考えます。引き続きのご努力を期待いたします

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

期 目 標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価	
学 校 運 営	(1) 神社神道の精神である「浄明正直」の実現	ア、学校行事を通じて神社神道の精神を学び成長の糧とする。毎月一日の学院神社参拝、校外学習における神社参拝や伊勢修養学舎を実施	行事実施前の神道授業での事前学習の充実と実施後の変化や成果を検証し改善を行う	行事(一斉参拝・春季例祭・秋季例祭・伊勢修養学舎)と授業(神道)を連携させて実施した。春の校外学習で、高3が神戸、高2が京都、高1が奈良の神社をそれぞれ参拝した。また、1月の耐寒行事を葛城古道で実施した。	
		イ、奉仕活動を積極的にを行い奉仕の精神を養う	神社奉仕や校外の清掃活動(学期に1回～2回)を実施	神社奉仕を7月後半に実施した。校外清掃活動は、今年度は実施できなかった。	
		ウ、積極的に挨拶をすることにより主体的に生活環境の配慮と構築を進める	教員生徒間はもちろんのこと来校者全員に対しても積極的に挨拶をする	概ね良好。外部の方々からお褒めの言葉をいただけることが多い。	
	(2) 教員研修の充実	ア、教科ごとに学内で公開授業を実施し教科指導力を向上させる	教科ごと学期に一回の研修会、反省会の実施	各教科での勉強会を実施し授業実践につなげた。公開授業を複数の教科で実施した。コースごとの会議を2回(9/12・1/6)実施。	
		イ、外部の研究会や研修会などに、各教科で積極的に参加	各教科で年間2、3回は参加し、教科内で情報を共有し、教科指導に役立てる	年間を通じ、各教育機関(英語先進校・探究先進校・予備校の研究会(共通テスト対策)などに教科から参加し、教科会議などで情報を共有した。	
		ウ、年2回程度外部講師を招き学校現場においてのタイムリーな課題・問題について職員全員対象での研修会を実施	社会的問題(人権等含む)となっているテーマについて講師を招聘しての研修を実施して、教員への意識の向上と迅速な対応が出来る事を目的とする	6月12日・11月27日・1月15日に実施をした。	
		エ、ICT教育関連の研修や研究授業に積極的に参加し機器の利用能力を向上させる	発表会、展示会へ参加研究授業の実施	各教科ともICT機器を積極的に用いた授業展開を実施した。	
		オ、新任教諭による研究発表会年間の研究研修の成果を発表する	新任教諭が存在する年に開催される	6月26日に実施した。	
	(3) 学校施設の充実	ア、学習施設の整備充実	全校生徒、一人1台Chromebookを遅滞なく使用できる環境整備の構築	ネットワークの通信速度の増強と、自学自習用教材のソフトウェアの拡充を行った。	
		イ、校内学習補助機材等の充実			
	(4) 危機管理体制の確立	ア、災害時マニュアルを更新	マニュアルの見直しと更新	総務部が中心となり、災害時マニュアルを見直し、4月3日に教員での避難訓練を実施した。新任教職員も参加し徹底をはかった。防災備蓄品を生徒一人にひとつずつ備蓄した。	
		イ、水、食料の備蓄を実施	新入生分を新規に備蓄する		
		ウ、防犯訓練、避難訓練の実施	大阪880万訓練の日に実施		4月に教職員で避難訓練を実施し、新任教員も含めて避難経路を確認した。11月6日に全校生徒で避難訓練を行った。
	基 本 的 生 活 習 慣 の 確 立	(1) 人権教育	ア、生活実態調査の実施	各学年1学期に実施	「人権アンケート」として5月23日に実施した。
			イ、人権教育HRの実施	各学年、年に2回程度実施	1年生は5月・10月・1月に、2年生は5月・12月・1月に、3年生は6月・9月に実施した。
ウ、生徒対象人権教育研修会(1年生のみ)の実施			年1回研修会実施	1年:「同和教育」をテーマに10月23日に実施した。 2年:「LGBTQ」をテーマに12月11日に実施 3年:「思春期教室」をに6月19日に実施	
(2) 生活指導		ア、学校外危険場所、正門での登下校時の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施しており、現在のところ問題発生件数は減少傾向にある、	
		イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態調査アンケートの実施	学期に1回実施	予定通りに実施した。効果的な方法であると確信しており、今後も継続し、日々の指導を充実させていく。近年はネット上のトラブルが中心となっている。	
		ウ、全校生徒対象の校長講話と生徒生活指導部長からの注意、指導	月2回の全体指導	朝礼において、毎月予定通りに実施した。	
		エ、服装、頭髪指導及び公共のマナー、交通マナー向上の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施した。登下校時の自転車事故の発生が増加している。	

(3) 講演会・講習会の実施	ア、薬物乱用防止教室	中高で実施	11月20日に実施した。
	イ、防犯教室	中高1年生対象で実施	7月14日に実施した
	ウ、人権研修会	各学年で実施	上記(1)ウに記載。
	エ、ネットトラブル防止教室	中高合同で実施	4月7日に実施した。
	オ、思春期教室	高校3年生で実施	5月30日に実施した。
	カ、自転車通学者講習会	高校1年生対象で実施	1年生は4月5日に、2・3年生は4月8日に実施した。
	キ、AED講習会	新任教員、クラブ代表生徒対象で実施	7月9日に実施した。
(1) 教科指導力の強化	ア、教科内での教員研修会の実施	教科別教員研修会の実施 朝・放課後・長期休暇期間における講習実施後の小テストや模擬テスト、定期テストの結果を見て改善箇所の発見と改善に努める	各教科内で互いに授業見学を行い、授業力の向上に努めている。また、ICT機器を活用した教授法などの研究を行っている。Google認定教育者(レベル1)資格の取得を推奨し、スキル向上に努めている。
	イ、通常授業や各種講習の指導を通じて指導力の向上		
(2) 英語教育の強化	ア、高校在学中の英語検定2級合格を目指す	英語検定を年に2回実施	英検を5月30日及び1月16日に実施。オンライン学習アプリを効果的に用いて、英検の学習を行った。土曜日の取り組み(1S)で対策講座を実施した。
	イ、Naniwa Global Academyの実施	海外の大学生が来日し本校生徒に対し5日間英語のみでコミュニケーションを図る指導などを行う	8月1日～6日(3日は休み)の期間で実施し、82名の生徒が参加した。様々な国籍の学生と交流を通して、異文化理解を深める機会を提供した。
	ウ、語学研修の実施	約2週間、国際社会で活躍できる人材の育成を目指し英語学習の必要性を高める	11/9～21フィリピン語学研修 3/14～29カナダ語学研修 3/23～プロジェクトK韓国研修(語学より学校間交流と文化学習を主とする)
	エ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励	英語検定準1級またはTOEICスコア730以上を目指す	若手教員を中心に、TOEIC基準点をクリアしている教員が多い。
	オ、浪速国際コースでの実践力強化	浪速国際コース(1コース)において、様々な取り組みを実践する	【2年生国際コース】オーストラリア(ターム1名)カナダ(ターム2名、長期2名)の計5名が留学。 大阪グローバル塾で1名選抜されイギリスで研修を受けた。 カナダやハワイ、台湾を始めとする大学からスタッフを招き、海外進学説明会を実施した。 1/21～23韓国から高校生研修を受け入れ、交流、京都案内、学校紹介等を行った。また、ユネスコ共同プロジェクトにも参加しレポートを提出した。 【3年生国際コース】ハワイ、台湾など多様な国への進学を実現。 【既卒国際コース】令和6年に卒業し海外大学への入学準備をしていた者も、アメリカ、スペイン、台湾、マレーシア等それぞれ渡航した。
(3) 講習等の実施	ア、始業前の学習指導	月～金まで朝学習を行う 学年ごとに内容などの計画を立てて実施	各教科の朝テスト・英語検定や漢字検定の集中対策・新聞記事を利用した思考力養成の取り組みなどを実施した。
	イ、日常の放課後講習とその後の自習指導の実施	模擬テストや定期考査においての成績の向上を指標の1つとして実施	放課後講習は月火水金で実施した。夏期講習・冬期講習・特別講座を実施した。
	ウ、長期休暇中での講習の実施		
	エ、基礎特訓講座の実施	成績不振者を対象にして、期末試験前の土日に実施。	6月・11月・2月に実施した。
	エ、総合的な探究の時間の実施	高校1年生で、週1時間(木曜日1限)に実施	IT教材を使用し、担当者(担任)の意見を取り入れながら、実施することができた。その成果として、2月5日に「探究発表会」を千早赤阪村教育委員長をお迎えして実施することができた。
	オ、多聞合宿の見直しと内容の充実	大学入試に対応する内容で5教科を中心に実施。同時に主体的学習時間も増やす	各学年で学習合宿を実施した。大学入試を意識して、各教科(共通テストで新実施の情報含む)による内容や思考力・表現力を育成する内容で実施した。また、大手予備校講師や塾講師による現地での生講座を実施した。
学力向上と進路			

	カ、夏期特別選抜合宿の実施	国公立大学志望者から成績優秀者を選抜して実施。3年生だけでなく、2年生でも実施	3年生は7月29日～8月6日で京都で実施。 2年生は8月1日～8月5日に多聞尚学館で実施。
(4) ICT教育の推進	ア、ICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加。	学校訪問、研究会、展示会参加。 本校独自の研究授業の実施	6/19 DSK User Meetup 2025 参加 2/25-27 Google for Education 生成AIを用いた教科指導セミナー(オンライン開催) 参加 3/13 Google for Education Geminiセミナー(オンライン開催) 参加
	イ、ICT機器を活用した本校独自の研究授業実施(電子黒板、プロジェクター、タブレット等)		ICTサイトの更新 その他、教員が認定教育者レベル1を取得するためのトレーニング Gemini 教育者認定試験 合格(有志)
(5) 将来の進路選択に関する意識付け	ア、大学入試改革・指導要領改訂への対応	制度変更や手続き関係などの連絡や説明会を定期的を実施	学期毎に進路HR(学年別)を実施し、入試方法の変更や入試制度の変更を学年で共有した。
	イ、各大学・専門学校関係者による校内・校外での進路説明会・キャリアガイダンスの実施	進路説明会、キャンパスツアー、分野別説明会等を実施	3年生に進路説明会、進学希望対象講演会 キャンパスツアー 1年生に分野別説明会、文理選択の為の理系大学見学会を実施した。
	ウ、各大学のオープンキャンパス、セミナー等への積極的参加	大学見学会、セミナー案内を定期的に実施	オープンキャンパスやセミナー、高大接続入試の案内を各生徒に案内した。
	エ、外部講師を招いての受験対策講義	難関国公立大学を目標に外部講師を招き講義	1Sや多聞合宿、特別補講、進路説明会の一環で実施した。
	オ、HR等の時間での進路説明会	各学年各学期に2回程度実施	計画通りに実施した。
	カ、思考力・判断力・表現力の育成	放課後講習や特別授業で実施	放課後の探究講座・多聞尚学館での「思考力養成セミナー」・「表現力向上セミナー」で集中的に実施した。 そして、その成果として、千早赤阪村で探究発表会を実施した。

保護者地域に開かれた学校づくり	(1) 保護者による授業参観と懇談	ア、授業参観の実施	4月下旬に授業参観を実施予定	予定通りに実施した。
		イ、各学期に行われる三者懇談会	6月と11月に実施予定	6月2日～7日、9月24日～30日(3年のみ)、10月24日～11月1日、1月23日～29日(3年のみ)に実施した。
		ウ、学期末に行われる成績懇談会	7月、12月に実施予定	7月14日～26日、12月8日～22日に実施。この他、必要に応じ、年間を通じて適宜実施。
	(2) 保護者との連携と情報発信	ア、担任と保護者との連携	欠席や遅刻をした場合の保護者への連絡	全ての担任が必ず当日中に確認の連絡を行い情報共有をしている。
		イ、ホームページ、学校連絡網システムであるclassiでの情報発信	全ての生徒・保護者と双方向の連絡が取れる仕組みを確立する	ホームページの充実を心がけ、今年度は特に学校での出来事をInstagramで発信することに力を注いだ。保護者への情報発信は、classiおよびclassroomも活用している。
		ウ、保護者対象進路説明会の実施	保護者対象に外部講師や本校教員にて実施	1学期に1年生保護者、2学期に全学年対象保護者にむけて実施した。また、2学期保護者対象に本校教員による学年集会として進路学習会を実施した。
		エ、高校生活支援カード作成による連携	入学時に提出し、必要に応じて適切な支援を行う	支援が必要な生徒には特別支援委員会で計画を作成し、情報の共有と共に支援を行った。
	(3) 地域との連携	ア、地域主催「区民まつり」「福祉祭り」「住吉区民コンサート」等の参加	積極的に参加する	6月と7月にレインボーコンサートを実施した。10月にはオータムコンサートを開催した。
		イ、吹奏楽部定期演奏会		3月31日にフェニーチェ堺(大ホール)で実施した。
		ウ、地域との交流	新たなる取り組みを開始する	6回、地域の皆さまへの食パン販売を実施し、大好評であった。
	(4) 奉仕委員会	ア、地域清掃奉仕活動・神社奉仕	各学期に1回～2回実施	神社奉仕を7月21日～7月28日の期間と10月18日の6箇所で行った。
		イ、書道部による交流	国際平和デー9.21の祈りに参加	書道部が和プロジェクトTAISHI主催の「国際平和デー9.21の祈り」に大阪護国神社で平和奉納揮毫として書道パフォーマンスを披露した。

#### 4 次年度への取り組みについて

##### 学校週5日制に向けた土曜日の活用方法について

一昨年度より始めた3S、特に1Sの開講講座を充実させ、参加人数の増加を図る。

多聞尚学館における学習合宿を土曜日の朝から実施し、内容を更に充実させる。

生徒向けだけでなく、保護者向けの講演会や学年集会を実施し、保護者のニーズに合わせた内容を準備する。

##### 地域との交流の活性化について

近隣住民との交流等については、コロナをきっかけとしてしばらく途絶えていたこともあり、今年度も元通りとはならなかった。

しかし、パンの外販が始まったことを機に、校内の一部に近隣の方々が入れられるようになり、

少しずつではあるものの交流が深まる機運は高まりつつある。

学校の運営(校内で実施する大きな行事など)に関連し、近隣の方のご理解、ご協力は非常に重要であるため、

行事の実施方法等を見直し、交流を活性化させる方策を検討する。

##### 教育環境の整備の一環としての制服の見直しについて

近年の夏の猛暑による熱中症対策や、SDGsへの取り組みへの一環として、制服の見直しを検討する必要性がでてきている。

夏服としては、冷却効果、吸汗速乾性、通気性、肌触り、ストレッチ性の高いポロシャツの導入を検討する。

また冬服としては、現在の防寒着のコートは着用率が低いことから、保温性が高く着心地が良く、

お手入れが簡単で収納にも困らない防寒着として、パッカブルタイプのダウンコートの導入を検討する。